

こたまた 樹神義和 後援会 だより

No.02



2007年3月発行

発行元: 樹神義和後援会

〒473-0935

豊田市大島町前畑1-1

(トヨタ紡織労働組内)

TEL 0565-52-3224

FAX 0565-52-3246

E-mail y-kotama@mpd.biglobe.ne.jp

だれもが魅力を実感できる豊田市を!!

私の決意!! よしかず こたまた 義和 38歳



皆様こんにちは。この度、皆様方の力強いご推薦をいただき、豊田市議会議員に挑戦させていただく事となりました『こたまた 義和』です。

日頃は、『樹神義和後援会』の諸活動に関しまして、絶大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

この度の挑戦に際して、豊田市政に対する思いと私の決意を述べさせていただきます。

私たちが住むこの街は、クルマの街として日本中の誰もが知っている非常に有名な街です。また、世界的に見ても、日本の首都である東京を知らない人でも、豊田という名を知っている。この様に世界で最も有名とって過言ではない。これが豊田市です。

また、財政力についても、市町村合併前のデータですが、平成16年度の財政力指数は全国No.1です。財政力指数というのは、地方税などの収入額を平均水準で行政を行った場合に要する額で割った数値で、全国平均は0.78。県内平均でも1.06です。

そして、私たちが住む豊田市は何と1.86となっており、全国平均の2倍を超える数値となっています。この様に知名度・財政力でNo.1の豊田市ですが、住みやすさはどうでしょうか?残念ながら私はNo.1では無いと思います。確かに他の市と比べて遜色は無いと思いますが、知名度・財政力と比べれば、もっと住みやすい街であるべきと私は考えます。

財政力指数全国順位				
全国順位	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
1	成田 1.52	武蔵野 1.80	豊田 1.82	豊田 1.86
2	武蔵野 1.49	豊田 1.66	碧南 1.80	武蔵野 1.82
3	豊田 1.48	成田 1.62	浦安 1.73	碧南 1.73
4	刈谷 1.37	碧南 1.59	成田 1.63	成田 1.65
5	浦安 1.35	厚木 1.47	刈谷 1.51	田原 1.62

しかしながら、『住みやすさの追求 = 箱物行政』ではいけないと思います。豊田市は今現在、福祉・介護・防犯・防災、そして教育・環境と、あらゆる諸問題を抱えております。これら諸問題を一つずつ確実に解決し、安全・安心・安価に暮らせる、真の住みやすさNo.1の街づくりを行っていく所存ですので、皆様方の暖かいご支援・ご声援を何卒よろしくお願い申しあげます。

『こたまた義和』さんを心から推薦します。

昭和62年の豊田市議会議員選挙において、議会に送って頂いた20年が経過しました。

今年4月の改選を契機に勇退することと致しました。今日まで皆様にはご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

既にご承知のように、次期候補者には『こたまた 義和』氏が後継として挑戦する事となりました。時代を担う若き議員として頑張ってくれる事と期待しております。

少子高齢社会が続く中、街の活力を保っていくには、高齢者のパワーを生かすと共に、若者が住みやすい社会を築く必要があります。そんな『街づくり』に尽力してくれるものと思います。



豊田市議会議員
鈴木伸介

こたまた義和 プロフィール

- ニックネーム たまちゃん
- 家族構成 妻・長男・長女・次男の5人家族
- モットー 失敗を恐れず、何事にも前向きにチャレンジ



- 現職 トヨタ紡織(株) 猿投製造管理部
トヨタ紡織労働組合 顧問

豊田市議会議員選挙立候補予定者

よし かず こたま 義和

yoshikazu kotama

いよいよ今年4月に迫りました豊田市議会議員選挙に立候補を予定している樹神義和(こたま・よしかず)さんに、その意気込みや実行していきたい政策などのほか、樹神さん自身のご家族のことやパーソナリティなどについてお聞きしました。



モノづくりと文化・歴史が融合する未来都市・豊田をめざして



切実な問題に直面している世代だからこそ分かること

98年から4年間、旧豊田紡織労働組合の書記長を務めていたとき、山田修司・現刈谷市議をはじめ、数多くの選挙に携わらせていただく機会があり、労働組合が議会の場へ、私たちの代表を出すことの大切さを改めて認識し、議員という職にたいへん興味を持ちました。

それまでも組合活動で、会社とさまざまな条件交渉を行い、組合員の生活改善に努めてきましたが、やはり労使の関係の中だけでは解決できない問題が数多くあることが分かり、私たちの生活そのものに直結している行政に参加し、よりよい生活を、よりよい社会を創造する担い手になりたいと考えようになったのが立候補のきっかけです。

私は現在、38歳。共働きの妻と3人の子どもをもつ父親です。ですから、子どもたちを預ける幼稚園、保育園の問題から始まり、教育環境の改善など、地域に暮らす私たちにとって、行政のあり方が最も重要になってきます。

そういう社会的な問題に一番直面している世代ですから、自分自身の経験を踏まえ、同世代の人や、地域の人たちの意見を聞きながら、行政へ声を発していこうと考えています。

自分の生まれ育った地域に誇りを持てる暮らしのあり方

豊田市は自動車産業の街として有名ですし、財政的にも全国で有数の街です。しかしながら、高い財政力のわりには豊かで住みよい街とはまだまだ言いがたいと思います。

そこで私は、豊田市で生まれ育った人間として、地域への愛着がわくような街づくりを行っていきたいと考えています。昨年の市町村合併によって、さまざまな地域の伝統や文化、歴史を共有することができました。

それを融合させ、製造業としてだけでなく、誰もが訪れ、そして住みたくなるような街づくりをめざします。また、中核市として、今までできなかった独自の政策も実施できるようになりましたので、自動車の街ということだけでなく、豊かな生活環境を併せ持った街づくりができればと考えています。

慎重かつ大胆な行動力が生み出す“実現力”

自分で言うのも何ですが、性格は「まじめ」だと思います。また、一度、決めたことは、何が何でもやり続ける粘り強さも身上です。とは言え、決して柔軟性がないわけではありません。臨機応変に物事を解決できるよう心掛けております。

また、働く者の代表として、豊田市全域の方々からご支援をいただくわけですから、ある地域の利害を背負うのではなく、あくまでも生活者の、そして豊田市のための政策を打ち出していけるバランス感覚が大切だと考えます。今後は、諸先輩方が推し進めてきた政策をしっかりと理解しながら、自分なりに工夫し、それ以上のものに発展させていきたいと考えています。これからの豊田市のあるべき姿のために精一杯努力をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。